

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928 長野市若里 1-5-26
電話 026-226-0086
FAX 026-226-8698
E-mail office@nagano-hok.com
年間購読料 3,600円
会員の購読料は会費に含まれています



2024年(令和6年)5月25日

No.519 (毎月1回25日発行)

(1990年6月22日第三種郵便物認可)

主な記事

ベースアップ評価料(1)/クイズチラシの紹介…2面、歯科新点数検討会/歯科新点数Q&A/会員寄稿…3面、理事会便り…4面

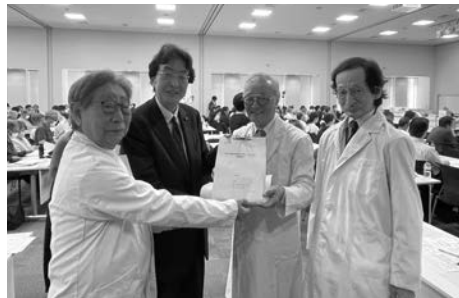
「保険証残して」全国から42万筆を提出

～長野県分1,078筆は下条議員へ～

県保険医協会は4月25日に現行の健康保険証存続を求めて国会行動を実施し、宮沢会長、林・市川各副会長、事務局1名が「保険証を残せ!署名提出集会」の参加及び地元選出国會議員への要請を行った。

本集会は、保団連・医団連・中央社保協・マイナンバー制度反対連絡会の4団体共催により開催されたもので、全国からWebを含めて522名の参加があった。

今回特に批判が集中したのはマイナ保険証の利用率低迷の原因が医療機関にあるとする、河野デジタル大臣が自民党議員に配布した文書について、駆けつけた国会議員からは医療機関に責任を転嫁するのは許せないといった



下条議員(左から2人目)に署名を手渡す

県保険医協会は関東信越厚生局長野事務所に対し、2024年度の指導計画等に関する開示請求を実施した。開示資料から本年度の平均点数と基準平均点数について紹介する。

平均点数とは、対象期間における各医療機関の明細書1件あたりの平均点数を用いて算出するが、医科診療所のうち院外処方医療機関に対しては、実際の平均点数にある程度の点数を上乗せする「補正」後の点数を用いる。なお、平均点



約42万筆の署名を提出

数が上がった。

また、下条みつ衆議院議員も集会に駆けつけ、「保険証存続の運動の中心はみなさんであり、この声をしっかり伝えることで、何としても保険証を残すように頑張りたい」と挨拶。前回提出に引き続き紹介議員として「現行の健康保険証を残してください」請願署名の長野県分1,078筆の署名を手渡した。

集会後は地元選出国會議員の議員室を周り、全国で行っている保険証存続に関するクイズハガキに寄せられた声を紹介、マイナに関して国民の不安が払拭されていない証拠資料として提供したほか、河野デジタル大臣の文書配布に関する問題も合わせて要請を行った。

数算出のデータ対象期間については例年、前年4～9月診療分としてきたが、今年度は厚労省より「適正な遂行に支障を及ぼす恐れがあるため不開示」とされた。

基準平均点とは、集団的個別指導や高点数個別指導の対象となる医療機関を選定する際の基準となるもので、病院の場合は県平均点数の1.1倍、診療所では県平均点数の1.2倍の値とされる。

集団的個別指導は、類型区分ごとに平均点数が高い医療機関が対象となり上位8%以上、かつ基準平均点を超過している医療機関より選定される。

高点数個別指導は前々年度に集団的個別指導を受け、前年の平均点数が

県保険医協会は、オンライン資格確認義務化撤回を求める理事会声明を4月30日に発表した。

義務化は、健康保険法の委任がないままに療養担当規則(省令)で昨年4月に実施されたが、これは健保法の委任範囲を逸脱した違憲であり、無効とされるべきである。また、オン資の未導入医療機関への地方厚生局による集団指導の実施や、療養担当規則違反として最終的には保険医療機関の指定取り消す等の仄めかしにより、対応できない医療機関が閉院に追い込まれている窮状を訴え、地域医療を守るために義務化を撤回するよう求めた。声明文書は岸田首相、厚生労働大臣、デジタル大臣へ送付した。

また同日に、マイナ保険証を使用できない医療機関を「通報」するように自民党議員に指示した文書について、抗議声明を発表した。

マイナンバーカードに関してはこれまでに数万件に及ぶ紐付け誤りを始め

多数のトラブルを抱え、国民の不安は未だ払拭されないままマイナ保険証

の利用率はわずか5%程度の横ばいとなっている。河野デジタル大臣はこの低迷の理由を「医療機関窓口が声掛けをしないことにあると考えられる」として、自民党議員に文書を送付し、マイナ保険証を利用できない医療機関があった場合にはマイナンバー総合フリーダイヤルに通報するよう、自民党支援者への呼び掛けを指示した。

利用率低迷の原因は国の施策及びマイナンバー制度自体の欠陥であることは明白であるにも関わらず、医療機関への責任のなすりつけも甚だし

い。県保険医協会で実施中のクイズチラシで寄せられているコメントも約9割が健康保険証廃止に反対するものであり、民意として健康保険証を存続させるよう求め、声明文書を岸田首相、厚生労働大臣、デジタル大臣に送付した。

理事会声明

オンライン義務化の撤回を求める マイナ保険証「通報」指令に抗議

表. 2024年度平均点数と基準平均点一覧

類型区分	平均点数 (医科診療所は補正後の平均点)	基準平均点		
		今回	参考	
			2023	2022
病院				
一般病院	55,185	60,704	60,163	59,346
精神病院	40,271	44,298	43,075	43,303
臨床・大学・特定	69,787	76,766	74,839	74,161
内科(その他)	1,051	1,261	1,309	1,316
内科(支援診療)	1,231	1,477	1,537	1,547
内科(透析)	6,387	7,664	9,007	9,191
医科診療所				
精神・神経科	947	1,136	1,158	1,277
小児科	1,125	1,350	1,458	1,248
外科	1,100	1,320	1,404	1,676
整形外科	980	1,176	1,187	1,222
皮膚科	532	638	671	691
泌尿器科	1,201	1,441	1,488	1,488
産婦人科	1,495	1,794	1,321	1,153
眼科	1,161	1,393	1,309	1,286
耳鼻咽喉科	673	808	833	835
歯科	1,195	1,434	1,453	1,450

上位4%以上、かつ基準平均点を超過した医療機関が対象となる。昨年度までは新型コロナウイルスの影響により中止されていたが、今年度から対象を限定して再開される(本紙2月号8面を参照)。

自院の平均点数は厚生局へ問い合わせれば知ることができる。開設者又は管理者が直接関東信越厚生局(長野事務所)へ電話で問い合わせると、本人確認の後、各医療機関の「類型区分」と「(補正)平均点数」が折り返し回答される。

ハラスメントという文字が力を強くしている。ジェンダーハラスメントは、今や問診票の性別記入欄に影響を与えるようになってきている。今までは、2つの項目の選択肢だったものが、それ以外の選択肢も出るようになる。出来るだけ簡単に詳細な情報を得ようと思っても個人情報保護という観点から未記入も可能なのである。大人の目で名前を呼ぶ事も簡単に出来なくなつた。昨今、今迄の様に単純な作業で有ったものに必要以上に時間を費やすことになる。▲パワーハラスメントに於いては、指示が指図と捉えられ、色々な区別も差別と捉えられるようになってきた。面接で持病について尋ねてはならないと聞いた、それは差別につながるから、何か起きた時の責任はどちらが取るのでしょうか。今迄のように何気なく喋っていたことが普通ではなくなり、喋る言葉にリスクが付き纏うようになってしまった。▲日本に居ながらオーロラが観測されたと報道された。見たいとは思いますが、今迄はあり得ないことが起きたことに心配が募る。気候の変動によるものなのか、これまでも干ばつや、大雨による洪水災害、さらに各地での地震災害と立て続けに起きています。何時身に降りかかってもいい様に準備はして於かねばならない。▲心配事といえば少子化問題だ。このまま進むと日本人は居なくなってしまう。地球が減るのが先か、日本人が居なくなるのが先か、最期は見届けられるのだろうか。(K・O)



鶏声
ハラスメントという文字が力を強くしている。ジェンダーハラスメントは、今や問診票の性別記入欄に影響を与えるようになってきている。今までは、2つの項目の選択肢だったものが、それ以外の選択肢も出るようになる。出来るだけ簡単に詳細な情報を得ようと思っても個人情報保護という観点から未記入も可能なのである。大人の目で名前を呼ぶ事も簡単に出来なくなつた。昨今、今迄の様に単純な作業で有ったものに必要以上に時間を費やすことになる。▲パワーハラスメントに於いては、指示が指図と捉えられ、色々な区別も差別と捉えられるようになってきた。面接で持病について尋ねてはならないと聞いた、それは差別につながるから、何か起きた時の責任はどちらが取るのでしょうか。今迄のように何気なく喋っていたことが普通ではなくなり、喋る言葉にリスクが付き纏うようになってしまった。▲日本に居ながらオーロラが観測されたと報道された。見たいとは思いますが、今迄はあり得ないことが起きたことに心配が募る。気候の変動によるものなのか、これまでも干ばつや、大雨による洪水災害、さらに各地での地震災害と立て続けに起きています。何時身に降りかかってもいい様に準備はして於かねばならない。▲心配事といえば少子化問題だ。このまま進むと日本人は居なくなってしまう。地球が減るのが先か、日本人が居なくなるのが先か、最期は見届けられるのだろうか。(K・O)